

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月28日

事業所名: 放課後等デイサービス すてーじ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		別紙参照	別紙参照
	2 職員の配置数は適切である		○	別紙参照	別紙参照
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		別紙参照	別紙参照
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		別紙参照	別紙参照
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		別紙参照	別紙参照
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		別紙参照	別紙参照
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	別紙参照	別紙参照
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		別紙参照	別紙参照
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		別紙参照	別紙参照
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		別紙参照	別紙参照
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		別紙参照	別紙参照
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		別紙参照	別紙参照
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		別紙参照	別紙参照
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		別紙参照	別紙参照
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		別紙参照	別紙参照
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		別紙参照	別紙参照
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		別紙参照	別紙参照
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		別紙参照	別紙参照
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		別紙参照	別紙参照	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		別紙参照	別紙参照
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		別紙参照	別紙参照
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	非該当	非該当		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	△		別紙参照	別紙参照
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		別紙参照	別紙参照
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	別紙参照	別紙参照
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	別紙参照	別紙参照
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	△		別紙参照	別紙参照
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		別紙参照	別紙参照
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		別紙参照	別紙参照	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		別紙参照	別紙参照
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		別紙参照	別紙参照
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	別紙参照	別紙参照
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		別紙参照	別紙参照
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		別紙参照	別紙参照
	35	個人情報に十分注意している	○		別紙参照	別紙参照
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		別紙参照	別紙参照
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	別紙参照	別紙参照

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		別紙参照	別紙参照
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		別紙参照	別紙参照
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		別紙参照	別紙参照
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	非該当	非該当		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		別紙参照	別紙参照
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		別紙参照	別紙参照

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月28日

事業所名: 放課後等デイサービス すてーじ

		チェック項目	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	
	2	職員の配置数は適切である	・職員の増員に向けた取り組みや、地域ボランティア若しくは、外部インストラクターなどの受け入れを検討します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	活動計画書を作成し、PDCAサイクルにて提供を行っている。活動終了後の自己評価を全体で共有し、次回の活動に繋げている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	・アセスメントを行う際に、利用児、保護者のニーズ及び課題の他、成長段階に合わせて調査する項目を増やすことがある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	・子どもの様子をアセスメントシートを使用している。また家庭での子育てに関する保護者の困り感や育児に関する悩みなどを共有できるように務めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	・季節の行事や体験課題等の機会が失われないように毎年繰り返し取り組む課題と、通常の事業所内活動の中で新しい取り組みや課題の難易度を協議している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	・月間活動計画を事前に定めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	・基本は集団療育を主としているが、当日の様子に合わせて集団性と個性のバランスを調整し子どもにかかるストレスに配慮している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	・当日の利用児の様子を共有し、次回受け入れの際の判断に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	・支援記録の記載時、利用児の不自然なアザや怪我に関し記録し、経過を見ている。改善がない場合のみ、保護者若しくは関係機関に報告を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	・いつでも誰でも確認できる場所にガイドラインを保管している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	・必要に応じて児童発達支援管理責任者以外のスタッフを同行させている。利用児の性別に応じて確認するスタッフをなるべく同性にて対応している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	・卒業前の子どもに対し、環境変化が苦手な子どもに対し、卒業後の生活の場となる事業所へのアプローチや体験生活を取り入れている。(要先方の事業所の同意と調整)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	・自己負担金(活動費・昼食代)が発生する場合は必ず事前通知を行っている。それ以外の負担は発生しないようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	・月1回通信を発行し、活動内容・目標・留意点などを発信して。
	35	個人情報に十分注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	・BCPの内容を保護者に通知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	・定期的に通信を通して自然災害や避難訓練等の情報を発信していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	・年に1回以上の勉強会を行い振り返りシートを記入している。利用児の不自然なアザや怪我に関し虐待防止委員会へ報告し記録に残している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	